

## = 業界情報 =

### 車検・定期点検割引クーポンの精算について

「点検整備推進Webキャンペーン」(10月)で行われたクイズの賞品として下記の「車検・定期点検割引クーポン(5,000円割引券)」を50名の当選された皆様に送付しました。

この割引クーポンは、車検・定期点検及び一般整備(オイル交換等)時の料金割引クーポンとなります。

ご利用がありましたらクーポン券裏面の記載内容をご確認の上、料金の精算にご協力をよろしくお願いします。

#### 割引クーポン表面

# 車検・定期点検割引クーポン

No.

車検・定期点検

**5,000円**

**割引券**

有効期限: 令和4年11月30日



このマークの  
会員工場で  
実施して  
下さい!

使える会員工場は  
こちらから



安心と安全のマーク  
車検・整備

Automobile Maintenance Service



裏面をご確認下さい。

#### 割引クーポン裏面

##### お客様へ

- AMSマークの当会会員工場で、この割引券をご利用下さい。
- AMSマークの工場は、ホームページでご確認下さい。
- 本券の有効期限は、令和4年11月30日とします。
- 車検・定期点検料金から5,000円を割引します。
- この割引券は、現金とのお引き換え及び釣り銭のお返しはしません。
- この割引券の盗難、紛失に対して、その責は負いません。
- ご記入頂いた個人情報は当会にて適切に管理し、その他の目的には使用致しません。
- 本券は1回の使用に1枚です。
- また複写したものは使用できません。



HP

##### 実施された自動車整備工場へ

- 割引券の利用があった場合は、請求金額から5,000円(税込)を割引して下さい。
- 下記の必要事項をご記入の上、振興会に割引券を持参し精算して下さい。
- 精算の期限は令和4年12月28日までとします。

##### 〈工場記入欄〉

○ お客様のお名前

○ 認証番号

8-

○ 車両番号

○ 実施工場名



車検・点検整備は  
**AMS看板の県下整備工場へ**

(一社)山梨県自動車整備振興会  
笛吹市石和町唐柏790(TEL055-262-4422)

# 令和3年10月施行「点検基準の改正」に係る 点検の対象となる警告灯について

自動車点検基準の一部改正（令和2年2月6日公布）に伴い、本年10月1日より、1年ごとの法定定期点検に「車載式故障診断装置の診断の結果」の点検項目が追加されることはご承知のとおりですが、今般、一般社団法人日本自動車工業会（自工会）より、保安基準で定められた警告灯（自動車メーカー共通）に加え、自動車メーカーより意匠が異なる「自動命令型操舵機能」、「衝突被害軽減制動制御装置」の警告灯（例）の提供がありましたのでお知らせします。

## 令和3年10月施行「点検基準の改正」に係る 点検の対象となる警告灯について

自動車※の定期点検基準の点検項目について、令和3年10月1日より、「OBD（車載式故障診断装置）の診断の結果」が追加され、1年ごとに点検することが義務化されます。

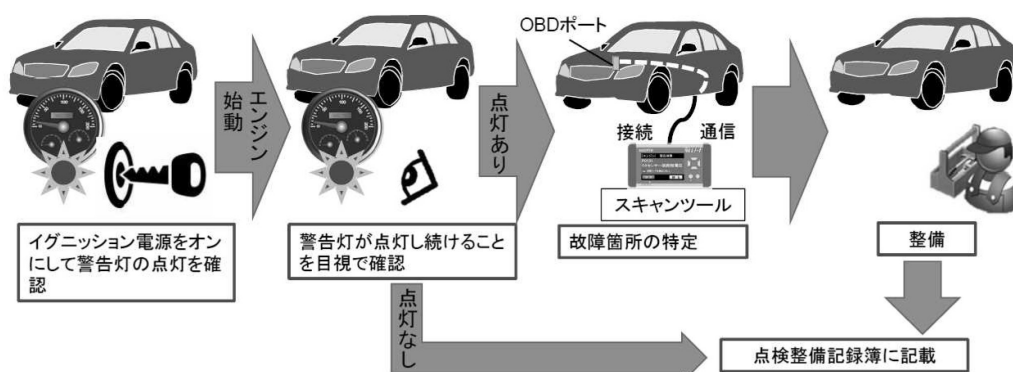
（※OBDの診断結果の点検項目追加については、大型特殊自動車、被牽引自動車、二輪自動車は対象外）

点検の実施方法としては、警告灯を確認、もしくはスキャンツールを用いて確認する方法で行いますが、警告灯の意匠は、自動車メーカー共通の意匠と、一部の意匠については各社によって異なるものがあることから、警告灯一覧を掲載しましたので、点検整備の際にご活用ください。

### ■点検の対象となる装置

点検の対象は原動機、制動装置、アンチロックブレーキシステム、エアバッグ、自動命令型操舵機能、衝突被害軽減制動制御装置及び自動運行装置となります。

### 【警告灯を確認する方法での点検整備の流れ】



出典：国土交通省ウェブサイト（<https://www.mlit.go.jp/jidosha/content/001332203.pdf>）















### ■参考資料



















【保安基準で定められた警告灯】（自動車メーカー共通の警告灯）

原動機		制動装置		アンチロック ブレーキ システム	
エアバッグ （前方または 前方・側方共用）		エアバッグ （側方）			

詳細はサービスマニュアルまたは、取扱説明書を参照

【自動命令型操舵機能、衝突被害軽減制動制御装置の警告灯(例)】(自動車メーカーによって異なる警告灯)

	いすゞ	スズキ	スバル	ダイハツ	トヨタ	日産
自動命令型 操舵機能	マルチディスプレイ 	 または 	マルチインフォ メーション ディスプレイ 			アシストディスプレイ 表示  システムが故障しているため 使用できません
衝突被害軽 減制動制御 装置						 および アシストディスプレイ 表示  システムが故障しているため 使用できません

	日野	ふそう	ホンダ	マツダ	三菱	UD
自動命令型 操舵機能	なし	LCD 表示 (大型トラック) 	LKAS または 	下記4種    	マルチインフォ メーション ディスプレイ 表示  警告 	なし
衝突被害軽 減制動制御 装置	 小型トラック以外  小型トラック	 または  OFF	 または 	 OFF	警告灯 および マルチインフォ メーション ディスプレイ 表示 	警告灯  マルチ ディスプレイ表示 ＜赤色＞ 

詳細はサービスマニュアル※または、取扱説明書を参照  
※OEM 車両の警告灯は供給元メーカーを参照



# 自動車点検基準の一部改正に係る点検について 「OBD（車載式故障診断装置）の診断の結果」の追加

21ページ掲載の「令和3年10月施行「点検基準の改正」に係る点検の対象となる警告灯について」の内容のとおり、自動車点検基準の一部が改正され、大型特殊自動車、被牽引自動車及び小型二輪自動車を除く自動車を対象として令和3年10月1日から「OBD（車載式故障診断装置）の診断の結果」が追加されて1年（12ヶ月）ごとに点検することが義務化されます。

これに伴い、令和3年10月1日以降は、お手持ちの記録簿（使用途中の記録簿綴り）を引き続き使用する場合、「その他の点検・整備項目等」の欄に「OBDの診断の結果」を追記し、対象車両につきましては、点検を行って下記の記載例を参考に記録簿を記載してください。

## 〈持込車検用記録簿〉

持込車検用記録簿のイメージ。左側にはエンジンルーム点検、室内点検、下部点検、その他の点検項目等が記載されている。右側にはOBDの診断の結果が記載されている。

## 〈指定整備記録簿〉

指定整備記録簿のイメージ。左側にはエンジンルーム点検、室内点検、下部点検、その他の点検項目等が記載されている。右側にはOBDの診断の結果が記載されている。

## ◇点検の対象となる車両

以下に掲載されている識別表示（警告灯）を備えるすべての自動車（但し、大型特殊自動車、被牽引自動車及び小型二輪自動車を除く）

【参考：診断対象となる識別表示（警告灯）の例】

原動機		制動装置		アンチロックブレーキシステム	
エアバッグ（前方または前方・側方共用）		エアバッグ（側方）			

※自動車命令型操舵機能、衝突被害軽減制動制御装置及び自動運行装置に係る識別表示（警告灯）の対象車種は国土交通省 HP に掲載されている自動車で、自動車メーカー等の作成する整備要領書等を確認する。

### ◇点検の方法

### 【スキャンツールを用いる場合】

スキャンツールの接続部を車載式故障診断装置と接続して診断の結果を読み取ることに  
より点検する。

【識別表示を用いる場合】

イグニッション電源をオンにした状態で診断の対象となる識別表示が点灯することを確認し、原動機を始動させる。そして、診断の対象となる識別表示（参考）が点灯又は点滅し続けないかを目視により点検する。

但し、自動車メーカー等の作成するユーザーマニュアル等により点検を行うこととされている場合は、その方法により点検する。

### ◇整備の実施方法

点検の対象となる警告灯が点灯又は点滅し続けている場合は、スキャンツール等を使用してその原因となる故障箇所を特定し、少なくともとも整備作業が適切に完了しなくなる恐れがある作業については自動車メーカー等の作成する整備要領書に基づいて整備を行う。

### ◇点検実施結果及び整備作業実施結果の記載例

記載例 1：点検の結果、良好であった場合

[illegible]

記載例 2 : OBD の診断の結果を点検し、衝突被害軽減制動制御装置のカメラを交換し、エーミング作業を行った場合

[illegible]

記載例 3 : OBD の診断の結果を点検し、衝突被害軽減制動制御装置のカメラのボルトを増し締めし、エーミング作業を行った場合

OBD の診断の結果	注	
------------	---	--

[illegible]

## 令和3年度 CO・HC測定器定期校正の実施計画について

認証工場を対象とする標記定期校正を、通達に基づき下記により実施致します。  
また、該当支部の事業場(認証工場)には追ってご案内いたしますが、あらかじめご承知置き下さい。

支 部	実 施 日	実 施 場 所	時 間
東 八	令和4年 1月18日(火)	振 興 会 実 習 場	9:00～16:00
東 八	1月19日(水)	振 興 会 実 習 場	9:00～16:00
東 八	1月21日(金)	振 興 会 実 習 場	9:00～16:00
甲 府 東	1月26日(水)	振 興 会 実 習 場	9:00～16:00
南巨摩南	2月 9日(水)	各 事 業 場 巡 回	10:00～16:00
上 野 原	2月16日(水)	各 事 業 場 巡 回	10:30～15:00

## 関係団体人事異動について

### 【関東運輸支局 山梨運輸支局】

新 所 属	氏名	旧 所 属
関東運輸局 山梨運輸支局 首席陸運技術専門官付	財津 侑吾	関東運輸局 神奈川運輸支局 首席陸運技術専門官付

### 【独立行政法人自動車技術総合機構 関東検査部 山梨事務所】

新 所 属	氏名	旧 所 属
関東検査部 山梨事務所 自動車検査官補	増山 瑛治	関東運輸局 山梨運輸支局 首席陸運技術専門官付

## 全国の整備相談所に寄せられた整備相談事例 Vol.120

### 【内容】 車検後、エンジンから異音がする

- ・車名：軽自動車 ・登録年月：平成21年 ・走行距離：不明
- ・3月4日 ガソリンスタンド（未認証）に依頼した車検が完了、当日は異常なし。
- ・3月11日 エンジンの異音に気付く。アクセルを踏み込むと、甲高い金属音や「キュルキュル」とベルトが空回りしているような音がする。振動もひどく、車内に置いてあるものが震える状況。
- ・3月20日 他県に転居。アクセルを全開にしてもスピードが出ない。
- ・3月26日 近所のカー用品店（認証取得店舗だと思われる）に持ち込んだが、3月18日に期限が切れた保安基準適合標章が貼られたままで車検証もないので、入庫を断られた。症状から、ダイレクト・イグニッションコイルかプラグが原因ではないかと言われたので、その場でガソリンスタンドに連絡、「車検証を渡そうと電話したが不在だったので、そのまま忘れてしまった」と釈明された。
- ・4月1日 車検証が郵送されてきたので、カー用品店に入庫した。診断の結果、点火プラグ3本のうち1本が緩んでおり、外すと真っ黒でプラグの電極が折れてエンジン内部に落下している可能性があるため、ディーラーで整備するよう勧められた。ガソリンスタンドにその内容を伝え、車検の指定整備をしたガソリンスタンド系列店（会員工場）から、「点火プラグ3本の交換費用は負担するが、ディーラーでの整備費用は負担しない」と言われた。
- ・4月4日 カー用品店に入庫、プラグ3本を交換したところスピードは出るようになり振動は収まったが、金属音は消えない。ガソリンスタンドからの謝罪はなく、気分を害している。きちんと直したいので、ディーラーでの整備費用も負担してもらうか、車検費用を全額返してほしいという相談。

### 【対応】

振興会の立場を説明し、相談者の了解を得て、ガソリンスタンド運営本社の責任者に連絡しところ、「ガソリンスタンドの店長から『プラグを外したら折れていた』という報告は受けているが、不明確なところもあり、現車を見たカー用品店に直接確認するよう指示している。ただ、『異音』や『車検証の不交付』については報告を受けていないので、確認して相談者に説明したい」と回答があった。

相談者にその旨を伝え、相談終了とした。後日、責任者から「相談者の近隣にあるディーラーに入庫して点検してもらう方向で相談者と合意した」という報告があった。

## 自動車特定整備事業に係る国土交通省ホームページ掲載のお知らせ

国土交通省ホームページに特定整備事業関係情報の専用ページ

「自動車特定整備事業について」が開設され、同ページにおいて、**電子制御装置整備の対象車両及び整備用スキャンツールの情報等**が掲載されましたのでお知らせします。

なお、上記 対象車両及び整備用スキャンツールリストは随時更新されますので、ご留意下さい。

国土交通省ホームページ「自動車特定整備事業について」

自動車⇒◆自動車整備事業⇒自動車特定整備事業について

[https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha\\_fr9\\_000016.html](https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_fr9_000016.html)



## スペアタイヤ格納具脱着作業時の注意事項

トヨタ自動車株式会社

スペアタイヤ格納具の床下搭載車両において定期点検等でタイヤの外観並びに空気圧を点検するため格納具のボルト/ナットを脱着しますが、しめつけ不足の状態で使用されますと、タイヤがガタついて走行中に外れるおそれがあります。つきましては、スペアタイヤ格納具の脱着作業時の注意点をお知らせしますので、確実な点検整備の実施をお願いいたします。

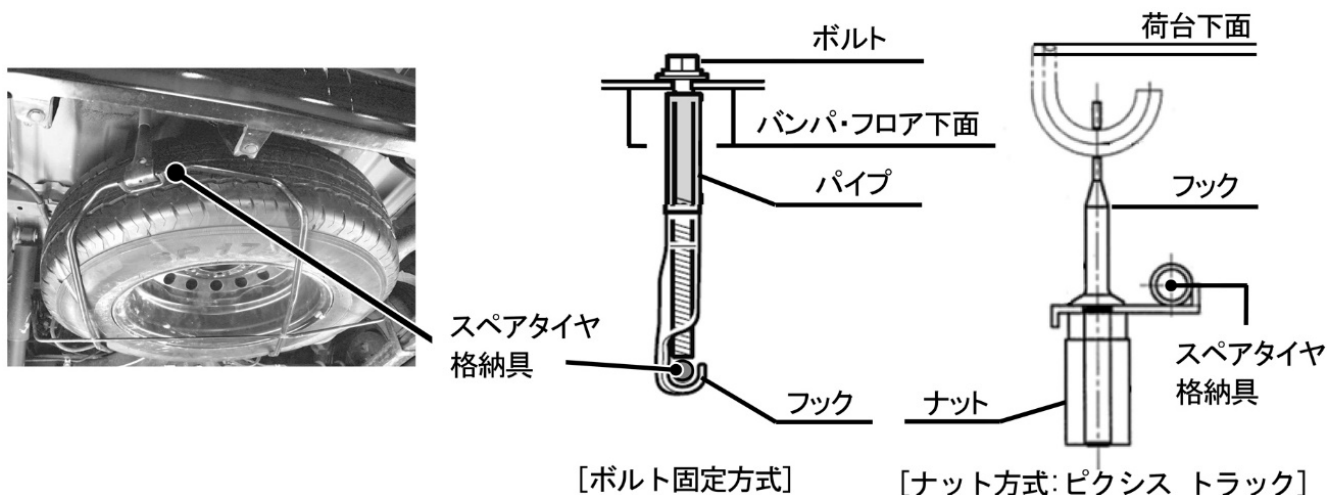
また、スペアタイヤ使用後、格納具のボルト締め付け不足によるタイヤ外れが発生した事例があることから、点検整備時にお客様のスペアタイヤ使用有無を確認の上、使用されていた場合は締め付け確認をお願いいたします。

### ■対象車種

ハイエース、レジアスエース、グランビア、ハイエースレジアス、グランドハイエース、イプサム、ナディア、ガイア、エスティマ、アルファード、ヴェルファイア、ノア、ヴォクシー、タウンエース、ライトエース、アイシス、プロボックス、サクシード、パッソセッテ、ピクシスバン・トラック

### ■スペアタイヤ格納具の脱着作業時の注意点

スペアタイヤ格納具は、下図のようにボルト、パイプ、フックまたは、フック、ナットの方式で固定されています。取付け時にはボルトにはパイプを必ず通し、フックにボルト/ナットが嵌合した状態で、フックに格納具をセットした後、ボルト/ナットをしっかりと締め付けます。





## ■ボルト/ナットの締め付け

- $18 \text{ N} \cdot \text{m} \quad (184 \text{ kgf} \cdot \text{cm})$



### [パイプのガタ確認方法]

- 

### [タイヤ固定の確認方法]

## ■タイヤの固定状態

- ・フックに格納具が正しくセットされ、確実に固定されていることをタイヤをゆすって確認してください。

## スキャンツール利用申込書及び借用書

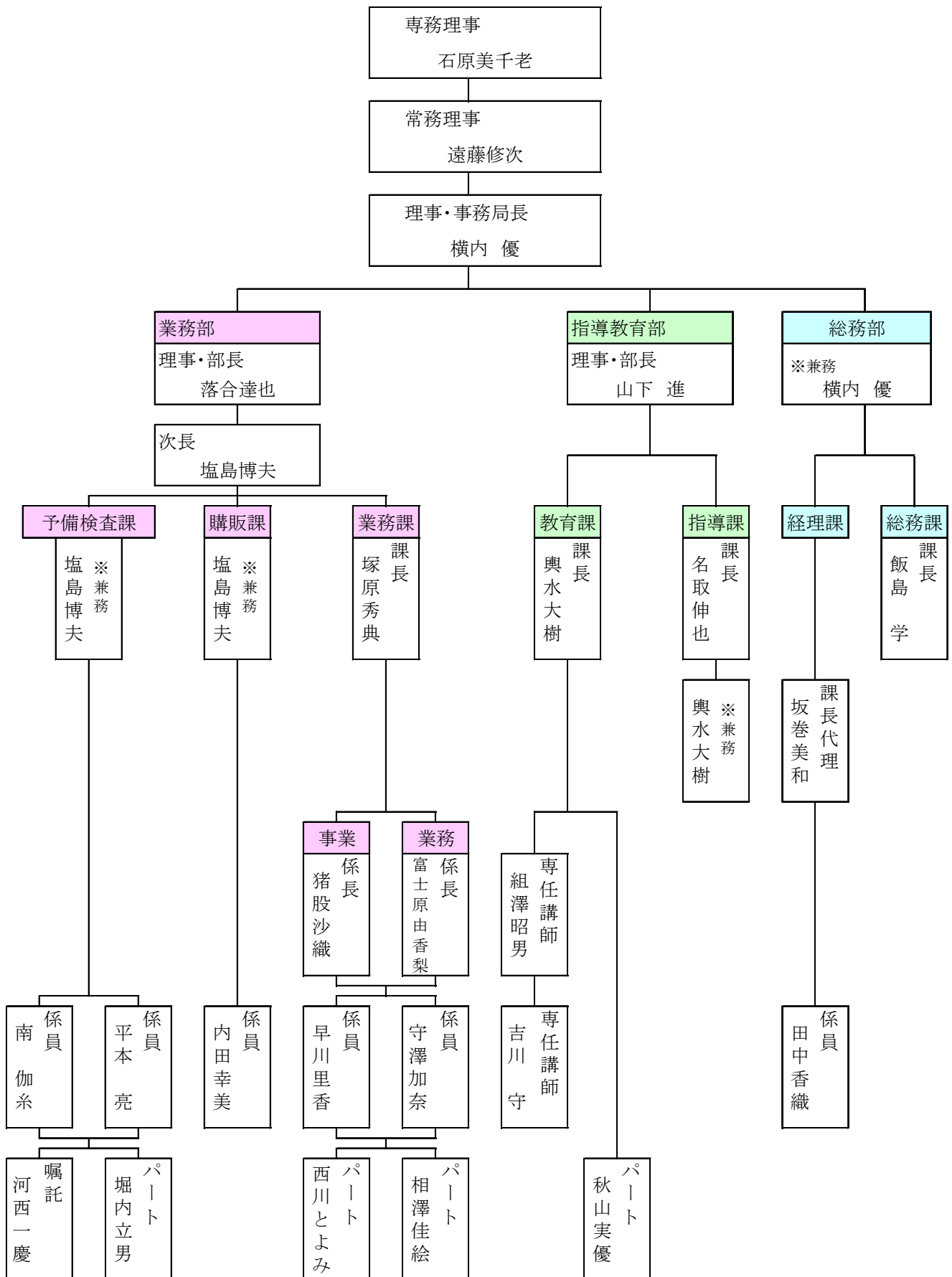
品名	ツール本体	日立 HDM3000 デンソーDST-2 インターサポート G-Scan 日本ベンチャーDT-3300						
	附属品類	取扱説明書      ダイアグケーブル      データ取込用 CD その他付属品    (                                  )						
使用日	令和     年       月       日 (     ) ~ 令和     年       月       日 (     ) まで							
<p>「貸出し注意事項」について十分承知いたしましたので、上記の機器を貸出し願います。</p> <p>なお、借り受けた<b>機器本体</b>を「故障」、「破損」、「紛失」させた場合は、<b>免責費用を負担</b>することを承知し、<b>付属品</b>も同様にした場合は、<b>実費負担</b>することを承知いたします。</p>								
支部名	支 部			認証番号		8    -		
事業場名								
事業主名	®			TEL		(     )		
(注) 貸出しについては基本的に事業主とします。事業主以外への貸渡しの場合は免許証の写しを頂きます。								

教育課 TEL 055-262-4422 FAX055-263-4420

交付日	交付者	貸出日	貸出者	故障、欠品確認	受領日	受領者	故障、欠品確認
令和 年 ／		令和 年 ／			令和 年 ／		

# 事務局組織図について

令和4年1月4日現在



職員1名退職

# 山梨県立峡南高等技術専門校

## 令和4年度入校生向け

# 入校選考のご案内

## 自動車整備士・電気工事士 の 国家資格取得 を目指しませんか。

### ●入校選考日

**令和4年3月2日（水）**

○受付期間

令和4年1月14日（金）～2月18日（金）

○合格発表

令和4年3月7日（月）

### ●応募資格

高等学校卒業者（令和3年度卒業見込者を含む）又はこれと同等以上の学力を有する者

### ●募集定員

☆2級自動車整備士資格の取得を目指す

自動車整備科（2年制） 6名程度

☆第2種電気工事士資格が取得できる

電気システム科（1年制） 16名程度



### ●試験科目

- ・数 学（高校1年程度までの内容を含む）
- ・国 語（高校1年程度までの内容を含み、古文・漢文を除く）
- ・面接試験

### ●授業料等

入校検定料	2,200 円
入 校 料	5,650 円
授 業 料	118,800 円（年額）



※雇用保険受給対象者は、雇用保険の延長給付を受けられる場合があります。最寄りのハローワークにご相談ください。

※一定の要件を満たせば、就学給付金・授業料減免制度を利用できます。詳細は峡南高等技術専門校にお問い合わせください。

※授業料等の他、教科書、資格取得等の経費の自己負担があります。

### 【お問い合わせ先】

## 山梨県立峡南高等技術専門校

〒400-0501

山梨県南巨摩郡富士川町青柳町3492

電話 0556-22-3171

FAX 0556-22-3172

入校選考試験関連の情報については、  
当校HPをご覧ください。



峡南技専

検索